

低温に関する農作物の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和2年4月13日14時30分、「低温に関する早期天候情報（東北地方）」が発表されました。

気温の低下が予想されるため、今後の気象情報に注意するとともに、農作物の管理には十分注意して下さい。

低温に関する早期天候情報（東北地方）

令和2年4月13日14時30分 福島地方气象台発表

東北地方 4月22日頃から かなりの低温
かなりの低温の基準：5日間平均気温平年差 -2.6°C 以下

東北地方では、寒気の影響を受けやすいため、向こう2週間程度は気温が平年より低い日が多く、18日頃と22日頃からはかなり低くなる可能性があります。

農作物の管理等に注意してください。また、今後の気象情報等に留意してください。

【果 樹】

1 結実確保対策

果樹の生育は、現在ももが開花中、なし、おうとうが開花直前、りんごは開花に向けて蕾が膨らみつつある時期となっています。

開花期間が低温で経過すると、受粉や受精が阻害され、結実不良となるおそれがあります。また、訪花昆虫の活動が停滞しやすいので、人工受粉を丁寧に行い、結実の確保を図りましょう。

なお、摘果は結実状況をよく確認した上で丁寧に実施しましょう。

2 防霜対策

生育が進むにつれ、耐凍性が低下し凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

事前対策として、防霜資材の手配と準備を万全にするとともに、地温の上昇を図るため、下草を5cm程度に刈り込みましょう。

また、空気や土壌が乾燥している場合は気温の低下を助長するため、適宜かん水を実施し、土壌水分の確保に努めましょう。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認のうえ、人工受粉を徹底し結実を促しましょう。また、凍霜害を受けた花から人工受粉用の花粉を採取する場合は、発芽率を確認して利用しましょう。

3 病虫害防除上の留意点

低温の影響により、果樹の開花が遅れるとともに開花期間が長くなり、防除間隔が空きすぎることが懸念されます。防除間隔が空きすぎないように病虫害防除を徹底しましょう。

【野菜・花き】

1 育苗・施設栽培

無加温ハウス内の作物には、カーテン、小トンネル、保温マット等を被覆し、補助暖房器具を用意して温度の確保に努めましょう。ストーブ等補助暖房器具を燃焼させた場合には、換気をしてからハウス内に入るようにしましょう。

日中晴れてハウス内が高温となった場合には、換気を行い、作物が軟弱な生育をしないように努めましょう。

2 トンネル・露地栽培

トンネル栽培ではビニル等に加え、不織布等の保温資材を被覆し、保温に努めましょう。

露地栽培では無理な早まき・植付けは行わず、既に植付けした場合は、トンネルやベタがけ資材の被覆により保温に努めましょう。

被害が発生した場合は、欠株の補植、速効性肥料の施用等適切な肥培管理により草勢の回復を図るとともに、病害虫の適切な防除を実施しましょう。

【水 稲】

1 浸種・出芽管理

浸種は、10℃で10日間、15℃で7日間が目安です。水温が低すぎると発芽揃いが悪くなりますので水温を下げないように、①育苗ハウス等の比較的暖かい場所で浸種する、②浸種容器を保温資材で覆う、③水温が下がりそうな場合は温水を加える、などの管理を行いましょう。なお、浸種期間は、水温を定期的に測定し温度管理を徹底しましょう。

無加温出芽の場合は、低温により出芽揃いが悪くなり、苗の生育が不揃いになります。低温が続く場合には、保温資材を活用し温度確保に努めましょう。

2 苗の管理

育苗期間中に低温（概ね5℃以下）に遭遇し、その後30℃以上の高温や過湿、水不足等の不良条件におかれると苗立枯病等が発生しやすくなります。温度管理（日中の換気と夜間の保温）には、十分に注意をしましょう。

表1 育苗ステージ別の温度・水管理方法等

ステージ	温度管理	水管理	備考
播種時～ 出芽揃	28℃	播種時箱当標準1 $\frac{1}{2}$ 。	・もみ枯細菌病対策のため温度管理は28℃以下とします。
緑化期	昼 20～25℃ 夜 15℃	午前中にかん水。	・強風やかん水ムラがあると苗の生育が揃いません。
硬化期	昼 20℃ 夜 10～15℃	朝方たっぷりかん水。（日中高温で乾燥する場合は、必要に応じて早い時間帯にかん水します）	・低温、過湿が継続すると根張り（マット形成）不良になります。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ

以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>